

野菊の墓（1981）

メディア 映画
ジャンル 文芸 ロマン스
製作国 日本
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1981/08/08

【解説】

伊藤左千夫による同名小説の三回目の映画化。宮内婦貴子が脚本を書き、澤井信一郎がメガホンをとった。松田聖子の映画デビュー作であり、澤井の監督デビュー作でもある。

遍路の旅に出た老人の斎藤政夫は、旅の途中で自分の過去を振り返っていた。自分が十五歳のとき、病弱な母きくを看病するため、従姉で十七歳の民子が家に住み込むことに。二人の仲は親密になり、その噂はやがて家の外にまで聞こえるようになっていた。母からあまり会わないようにと言われ、政夫ときくはお互いに恋心を抱いてしまう。やがて二人を中傷する声が聞こえてきたため、きくは政夫を全寮制の中学に入れ、その間に民子の縁談を進めるのだった。そのことを知った政夫は急いで戻るが、すでに民子は花嫁に行った後だった。

【クレジット】

監督 澤井信一郎
製作 高岩淡
相沢秀禎
企画 吉田達
高村賢治
原作 伊藤左千夫
脚本 宮内婦貴子
撮影 森田富士郎
美術 桑名忠之
編集 西東清明
音楽 菊池俊輔
助監督 森光正
出演 松田聖子 Seiko Matsuda
桑原正
島田正吾
加藤治子
樹木希林
村井国夫
赤座美代子
湯原昌幸
小甲登枝恵
大井小町
相馬剛三
高月忠

泉福之助

奈辺悟

団巖

藤木武司

大栗清史

沢竜二

常田富士男

叶和貴子

沢田浩二

佐川二郎

村添豊徳

愛川欽也

白川和子

丹波哲郎 Tetsuro Tamba